

## 5 学校経営全体構想

### <関連法規>

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・各種教育関係法
- ・学習指導要領
- ・石川の教育振興基本計画
- ・市重点施策 等

### <学校評価計画>

- ・学校評価計画を作成し、年間2回の学校評価を行う。
- ・学校研究方針に即して、学力向上との一体化を推進する。
- ・評価項目をしぼり込み、学習や生活目標と連動させた短期的R-PDCAを重ねる。
- ・カリキュラムマネジメントを効果的に推進する。

### <学校教育目標>

感謝の心をもとに  
かかわりの中で自己を高める  
たくましい児童の育成

### <めざす学校像>

安心・安全な学校

- 【児童】 一人一人に居場所があり、学びの喜びを実感できて安心・安全
- 【職員】 チームとして、協力・協働し組織的に取り組む職員集団で安心・安全
- 【家庭・地域】 信頼と連携を得られて安心・安全

### <めざす子ども像>

- ① 自ら考え、表現する子
- ② やさしく、助け合う子
- ③ たくましく、粘り強い子

### <めざす教師像>

- ・意欲的に教育活動に取り組む教師
- ・児童への対話と受容に努める教師
- ・共通実践において粘り強く取り組む教師
- ・保護者や地域と共に歩む教師

### <児童の実態>

- ・素直で明るく、運動好きで優しい心を持つ子が多い。
- ・どの子も「認められたい」という思いを強く持っている。
- ・相手意識を持って主体的に話したり聞いたりすることが十分とはいえない。
- ・粘り強く取り組む意欲や態度、言葉づかいや生活習慣に気になる面が見られる。

### <地域の実態>

- ・学校に対する思いは熱く、協力的である。
- ・毎日多くの安全ボランティアの活動があり、子どもを大切に作る風土がある。

## 知・徳・体のバランスのとれた教育

カリマネの柱は「すすんでかかわり高め合う力の育成」

### 【学習研究部】

- ① 授業づくり
  - ・児童主体の授業
  - ・自己決定の場の設定・ICTの活用
- ② 学習基盤づくり
  - ・蝶屋小 学びの約束の徹底
  - ・聞く・話す、学習規律の定着
- ③ 学習習慣づくり
  - ・家庭学習の充実 自学
  - ・よりよい読書習慣の確立

### 【生徒指導部】

- ① 自己有用感向上
  - ・役割 ほめ、認め、励ます
  - ・ありがとうの習慣化
  - ・喜びの共有 ・よい姿を広める
- ② 自分も相手も大切にする
  - ・挨拶の習慣化・規範意識の醸成
  - ・場に応じた言葉づかい
- ③ 対話の充実
  - ・心の居場所づくり
  - ・内面把握 対話的支援

### 【特別活動部】

- ① 体力の向上
  - ・1校1プラン、スポチャレの実行
  - ・日常的に運動に親しむ
- ② 主体的な態度の育成
  - ・めあてをもって行動 振り返り
  - ・目的、必要感のある活動、協働
- ③ 自己存在感を育む場づくり
  - ・特性を活かした活躍の場の設定
  - ・思いやりの心や絆を深める縦割り活動の充実

### 【研究主題】

主体的に学ぶ子の育成 ～算数科における単元デザインを通して～

### 教育活動の重点

- 自己肯定感の向上と  
自他を大切にし自分から行動する子の育成
- ① 生徒指導の4機能を生かした居場所のある学級づくり・授業づくり
  - ② 主体性を育む場の設定 基礎基本の定着
  - ③ 縦割り班活動、地域人材活用学習で学ぶ視野を拡張

### 研究活動の重点

- 子供の実態に整合した  
検証・改善の積み重ね
- ① 校内研究と学力向上の一体化
  - ② 部講師・助言者の招聘
  - ③ 日常的短時間OJTの実現

### 組織体制強化

- 組織的対応と  
継続性の強化
- ① 迅速チーム対応 (初動協働・方針確認・早期対応)
  - ② 検証・改善重視型の機動的なシステムづくり
  - ③ 5ステージ制による見通しを持った取組

### 校務改善

校務の効率化

- ① 報連相の徹底 情報の見える化
- ② 丁寧な記録
- ③ 一斉化・共有化
- ④ メンタルヘルスのチェック体制確立
- ⑤ 業務の平準化

### 地域とともにある学校づくり

- ① 教育活動や教室を積極的に公開
- ② 学校の教育活動を積極的に発信
- ③ 地域と連携した安全、健康、心の教育の推進
- ④ 保護者の思いや願いの声を反映した学校運営
- ⑤ 保護者の子育てや教育に対する意識の啓発や向上